

教育委員が保育園・学校を訪問しました

6月9日にとがり・しろやまの保育園を教育委員が訪問し、園児の様子を参観したり、園児と一緒に給食を食べる交流をしました。

また、6月12日には東小学校、19日には城南中学校を訪問し、授業参観や学校長との懇談を行いました。今年は総合教育会議を開催したこともあり、城南中学校へは足立市長も一緒に訪問し、学校現場が抱える課題や教育環境の改善について、教育委員、学校長と意見を交換しました。



親子遠足に行きました (あきは保育園)

6月8日(月)、斑尾高原へ親子遠足に行きました。当園では保護者の方が中心になり、行き先や日程などを計画して行っています。

当日は好天に恵まれ、9組の年長児と保護者が参加し、アイスクリーム作り体験、オリエンテーリング、凧揚げを楽しみました。美しい山をバックに、凧がぐんぐん上がる様子を見ながら笑顔があふれていました。園ではお兄さんお姉さんで頑張る年長児も、この日はお母さんを独り占めでき、嬉しい1日となりました。



男女共同参画講演会・いやま女性センター未来文化講演会より

作家・ジャーナリストの石川結貴さんを講師に「支え合う男女関係と新しい家族づくり」と題して講演会が開催されました。■男女共同参画とは？男女の違いを認め合いながらお互いに手を取り合って協力して、いい生活、幸せをつかめたらいいね、という考え方。職場では、女性が長く働けるという環境になつていない。家庭では、お父さんがビール飲んでいるのにお母さんが働いている光景。地域では、地域の役割はすべて男性。それで上手くまわっていればいいが、そのことで問題が発生している。これを少しずつ解消していこうというのが男女共同参画という発想。■男女のライフイベントの違い、男性は仕事、女性が家庭を守ることも最近男性の稼ぎだけでは食べていけない。女性が子育て、家事、仕

事、介護等一人で何役もやらないといけない。女性が家を守るということの中に、色々なことをやらないといけないという問題がすっぽり抜けている。■夫婦の分かれ道、夫婦は嬉しいことを二人で増やす。関係が歪むと恨みを増やす関係になる。恨みを数えずに嬉しいを数え増やす関係がいい。■幸せ家族になるために、自分の認識や考え方をちよつと振り返る。人はそれぞれ、得意不得意がある。その時々、事情に応じた形でお互いの出せるものを出し合つて、持ち寄つて、作っていく関係が本当の意味でのいい家族関係、男女関係。■「気持ち」を言葉にしてみよう、人間は感情の動物、理屈では動かない。相手に気持ちが伝わってこそ相手の行動も変わっていく。大事なのは「私はこう思っている」というアイメッセージで、気持ちを相手に伝えていくこと。■男女共同参画とは、決して難しいことではなく私たちの日常生活のほんの

一言、ほんのちよつとした毎日の行動・言葉、考え方に関係している。【参加者の感想より】◇日常生活の中の具体的な例をあげた話はわかりやすく興味深かった。気持ちのいい家族づくりは、ちよつとした心遣いでできそうです。(70代男性)



学校給食の代替調理員を募集しています

常勤調理員が急に休む事になった場合に、調理業務を補助いただける市内小・中学校の代替調理員を募集しています。詳しい勤務内容等については、子ども育成課学校教育係 ☎3111 (内線362) へお問い合わせください。

永年の活動に感謝 平成27年度飯山市青少年育成市民会議会長表彰

飯山市青少年育成市民会議では、青少年の育成に貢献された個人や団体、顕著な善行を行った青少年を表彰しています。6月11日(木)、市役所で表彰式が行われ、個人1名および3団体に市長から表彰状が贈られました。青少年の健全育成に永年にわたって尽力された功績をたたえ、共に、受賞された皆さまの今後のさらなるご活躍をお祈り申し上げます。



前列左から足立市長、山崎仁様、夢丸小学校(代表 高島久人)様、木島小学校スポーツクラブ(代表 関久徳)様、飯山市少年野球連盟(代表 古海成称)様、上松市議会副議長です。後列は推薦団体代表者および市民会議理事の皆さんです。

◆山崎 仁 様
飯山少年警察ボランティア協会として、少年非行防止や防犯活動などに尽力。

◆夢丸農業小学校 様
大豆の生産、みそ造り等の農業体験や、市内外の少年野球チームとのリーグ戦を行う。

◆木島小学校スポーツクラブ様
年間を通して、陸上・水泳・登山・スキーなどのスポーツ活動を行い、スポーツを通して青少年の健全育成に尽力。

◆飯山市少年野球連盟 様
発足40周年を迎え、岳北地域の少年野球チームの目標となる大会運営や市外の大会への参加。

長野県社会教育委員 連絡協議会会長表彰

去る6月17日、長野県総合教育センター(塩尻市)において、長野県社会教育連絡協議会総会が開催され、飯山市からは多年にわたり、社会教育委員として社会教育の推進にご尽力いただき、地域社会の発展に寄与された2名の方が表彰されました。

- 吉越 隆師 様 (5期10年)
- 吉田 正紀 様 (3期6年)

箱 共に育つ

飯山小学校長 松木 英文

本校には、今年も46人のかわいい一年生が入学してきました。一人一人のお子さんは、かけがえのない命をもった大事な存在であることを深く自覚して、職員一同、心してお子さんをお引き受けし、入学を祝福しました。

この子たちをどう育てていくか。学力を身につけていくことはもちろんのこと、どの子ども一人一人がだれとでも共存して、毎日の生活に満足感を得る、学校でも家庭でも地域でも、そんな気持ちを感じながら過ごしてほしいと願っています。

では、自分も大事な存在であるかと自覚し、それと同じように友だちも大事にする感覚を、子どもにどのようにつけていくか。そんなことを考えていた何年前、その解決のヒントとなる詩に出会いました。

「この詩の「親」を先生に、「家庭」を「教室」に置き換えると、学校の中でも通じることになります。子どもとかわる中で、親も教師も地域の方々も、よりよい価値観をもった大人として自分自身を育てていくことが、どの子にも自尊感情と豊かな人権感覚を育てることに必ずつながると考えています。」

子は親の鏡『けなされて育つと、子どもは人をけなすようになる。とげとげした家庭で育つと、子どもは乱暴になる。不安な気持ちで育てると、子どもは不安になる。「かわいそうな子どもだ」と言つて育てると、子どもはみじめな気持ちになる。子どもをばかにすると、引つ込み思案な子になる。親が人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる。叱りつけてばかり